

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」TEMDEC (Telemedicine Development Center of Asia)活動報告：第14巻

<https://doi.org/10.15017/4403553>

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 14, 2018-03. TENDEC Office
バージョン：
権利関係：



2. 本年度の成果

平成29年度の主な活動成果

1. APAN医療グループの体制を刷新
2. 各国遠隔医療ワークショップの拡大・発展
フィリピン、インドネシア、チリ、マレーシア
3. 世界消化器病学会における受賞
4. 35か国、222施設、134プログラム
5. 人材交流の促進：招聘と派遣
6. 技術者トレーニングプログラムの充実
7. 活動ポリシーの明文化



図 2-1 平成 29 年度の主な活動成果の一覧。

APAN 医療グループの新体制：2018 - 2019

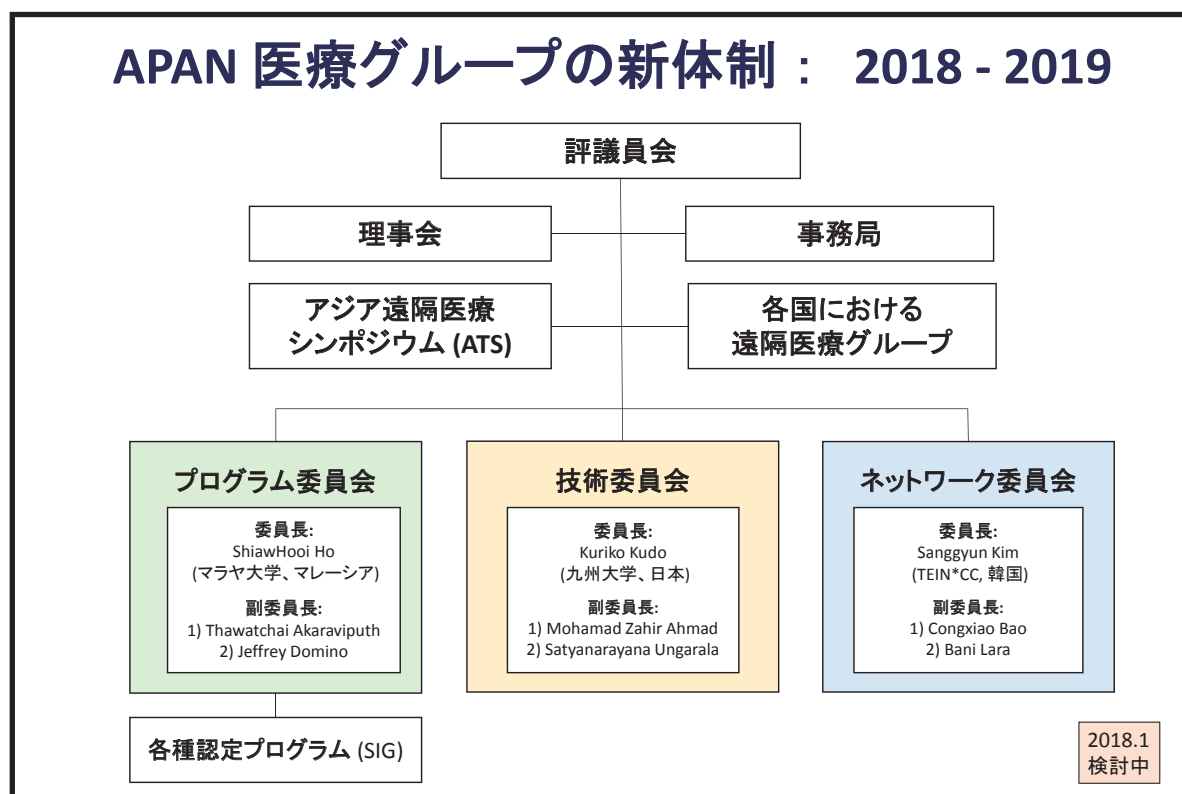


図 2-2 刷新されたアジア太平洋先端ネットワーク医療チームの体制図。

各国における遠隔医療ワークショップ 1



2017.11.18
フィリピン



2017.10.5
インドネシア

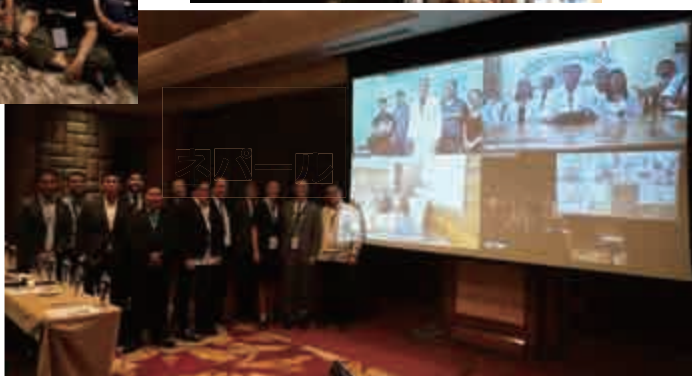


図 2-3 10 月にはインドネシアで、11 月にはフィリピンで遠隔医療ワークショップが開催された。

各国における遠隔医療ワークショップ 2



2017.11.30 チリ

図 2-4 11 月にはラテンアメリカで初めてとなるチリでの遠隔医療ワークショップを開催。

世界消化器病学会「最高栄誉賞」を受賞



@Orlando, FL



「The Master of the WGO Award」と呼ばれる世界消化器病学会で最も栄誉あるこの賞は、本学会の目的に合致した素晴らしい業績を挙げた研究者や活動を推進した人々に贈られます。

今回の受賞は、高速インターネットを活用した遠隔医療システムの開発と、10年以上に渡りアジア地域のみならずアフリカやラテンアメリカを含む世界各地への遠隔教育プログラムの拡大に貢献したことによるものです。これまで26名が受賞していますが、日本人は初めてです。

図 2-5 平成 29 年 10 月、世界消化器病学会で最高栄誉賞を受賞。

第11回アジア遠隔医療シンポジウム



2017.12.15-16 マレーシア・クアラルンプールにて

図 2-6 第 11 回アジア遠隔医療シンポジウムが、マレーシアのマラヤ大学で開催された。



図 2-7 毎年1か月間の「指導者養成」プログラムを企画・開催。



図 2-8 海外からの短期研修も様々な診療科へ広がってきている。



図 2-9 海外訪問もアジアを越えて、様々な国や地域へも拡大。

活動ポリシーの明文化

・基本的な考え方

本プロジェクトで施行するカンファレンスは、あくまでも教育用が主体であり、患者情報を直接取り扱う電子カルテや診療情報の共有を目的としたものではありません。そのため患者氏名や患者の顔など患者を特定できる患者情報は一切公開されることはなく、事前に削除されるか同定できないように被覆されるなどして慎重に取り扱われています。

1. カンファレンスの記録、著作権、肖像権について
2. 資料等の公開について
3. カンファレンスのストリーミング配信について
4. 研究成果の公知性について
5. 患者の個人情報の取り扱いについて

図 2-10 活動に関連する個人情報や著作権に対するポリシーを明文化した。